お城と神社を歩いてみようコース

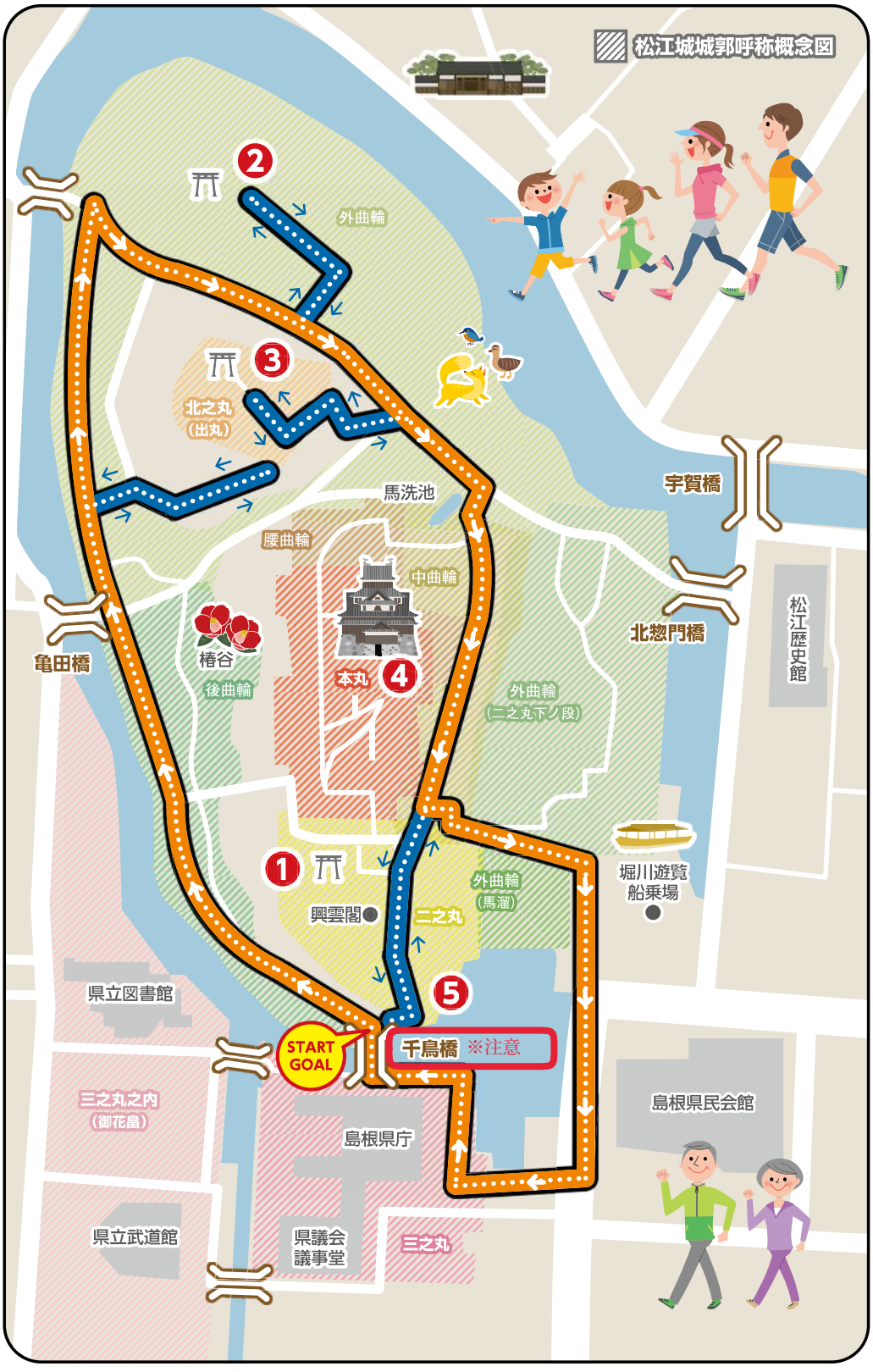
1周あたり約 1.5km／約 18 分

POINT

しっかりとストレッチをしてからウォーキングを始めましょう
慣れてきて**もう少し負荷をかけたいという方は、青いコース**にも
挑戦してみましょう（坂や階段がありますので注意してください）
1 km歩くと、約 1,430 歩（歩幅 70cmで歩いた場合）となります

健康長寿プラスワン しまね

島根県ウォーキング協会×島根県（令和３年５月作成）



※千鳥橋について、令和３年5月6日～令和4年３月31日まで架け替え工事のため通行できません

START GOAL 千鳥橋

千鳥橋は二之丸の南に位置し、三之丸（現県庁舎）と城山を結ぶ木橋です。
江戸時代には「御廊下橋（ごろうかばし）」と呼ばれ、当時は屋根がついていました。

1 松江神社

主祭神は、松江藩松平家初代藩主の松平直政で、松江城天守が国宝になる決め手となった祈祷札が発見された神社です。
縁結びの地としても有名であり、絵馬はハート型をしています。

2 城山稲荷神社

松平直政が勧請した神社で、かつては千体以上もの石の狐があり、今も多く残っています。
小泉八雲が通勤の途中によく立ち寄った神社としても有名です。
城山には豊かな自然が残っており、野生動物も多く生息しているので、野生のキツネにも出会えるかも!?

3 松江護国神社

かつては北之丸と呼ばれ、築城時には堀尾吉晴が仮の御殿（上御殿；うわごてん）を築いていた場所と言われています。明治維新から太平洋戦争に至る出雲・隠岐出身の戦没者を祀っています。

4 国宝 松江城天守

松江開府の祖、堀尾吉晴が築城し、千鳥が羽を広げたような千鳥破風（ちどりはふ）の屋根から別名「千鳥城」とも呼ばれています。
全国に 12 城しか残っていない現存天守の１つであり、平成 27 年７月に国宝に指定されました。

5 二之丸の櫓（やぐら）

二之丸は松江城の南側に配されています。明治８年(1875)に二之丸にあった櫓は解体されましたが、平成７年に発掘調査が行われ、太鼓櫓(たいこやぐら)、中櫓(なかやぐら)、南櫓(みなみやぐら)が復元されました。